



1 健康関連の最終的な評価指標

①プレゼンティーズム:職員のパフォーマンス発揮	2024年度	前年度	同業種平均値
パフォーマンス発揮率 (心身の不調による損失が無い場合のパフォーマンスを100%とした場合の、過去4週間の業務パフォーマンスの発揮率の平均)	82.0%	80.2%	
※従来の研修参加者アンケートから、2024年度より「健康経営だより」アンケートで全従業員に変更	504名(64.6%)	170名	

②ワークエンゲージメント 個人のイキイキ度	2024年度	前年度	同業種平均値
活力度(仕事をしていると活力がみなぎると感じる者の割合)		60.6%	※ユトレヒト・ワーク・エンゲージメント尺度超短縮版3項目を使用し把握
熱心度(仕事に熱心であると感じる者の割合)		88.2%	
没頭度(仕事をしていると時間が経つのが早いと感じる者の割合)		95.9%	
ストレスチェック80項目版ワークエンゲージメント 平均点(偏差値)※	2.33(46.9)		
※従来の研修参加者アンケートから、80項目ストレスチェックでの全従業員調査に変更(偏差値 北里大学提案方法:医療福祉基準)	733名(97.1%)	170名	

③人材確保・定着	2024年度	前年度	同業種平均値
平均勤続年数	10.6年 →	10.6年	8.8年
年間退職者率(メンタルヘルス以外の疾患)	0.0% →	0.0%	
年間退職者率(メンタルヘルス不調)	0.3% ↓	0.6%	

③ハラスメントに関する指標	2024年度	前年度	同業種平均値
パワーハラスメント経験率(現在の職場で過去3年間のパワーハラスメントを受けたと感じる者の割合)		5%	(研修参加者アンケート)
ストレスチェック80項目版職場のハラスメント本人認識率	6.3%		
ストレスチェック80項目版職場のハラスメント 平均点(偏差値)	3.67(50.3)		-
※従来の研修参加者アンケートから、80項目ストレスチェックでの全従業員調査に変更(偏差値 北里大学提案方法:医療福祉基準)	733名(97.1%)	170名	

2.健康投資効果:取組み状況・職員の意識・行動に関する評価指標

⑤ストレスチェック(※)	2024年度	前年度	同業種平均値
高ストレス者率	11.3% ↓	13.5%	全衛連14.9%
高ストレス職場の該当率(総合リスク値150以上の職場の割合)	0.0% →	0.0%	
ストレス傾向職場の該当率(総合リスク値120以上の職場の割合)	3.4% ↓	11.5%	
良好職場の割合(総合リスク値100未満の職場の割合)	55.5% ↑	53.8%	-
ストレスチェック80項目版職場の一体感※平均点(偏差値 北里大学提案方法:医療福祉基準)	2.50(47.5)		-
(*)メンタルヘルス研修に加え健康リスク120以上の高ストレス職場・ストレス傾向職場に関しては、必ず職場環境改善を実施しております。 健康リスク150以上の部署は2022年には4%ありましたが、以降0%。120~149のストレス傾向の部署も2022年、2023年の12%から2024年は3%に減少。総合リスク100未満の良好部署が2022年42%、2023年54%、2024年55%と増加しており、全体としても改善しています。 職場環境改善の成果が出ていると思われませんが、さらなる職場環境の改善に努めていきます。			

⑥長期病欠・休業率等、労災発生	2024年度	前年度	同業種平均値
メンタル不調による長期病欠・休業率(連続1か月以上)	1.1% ↓	1.2%	-
メンタル不調以外による長期病欠・休業率(連続1か月以上)	1.6% ↑	0.7%	-
4日以上 の休業を伴う労働災害の発生件数	0件 →	0件	-
4日以上 の休業を伴う通勤災害の発生件数	1件 ↑	0件	-
長期病欠・休業率は、連続1か月以上の長期欠勤・休職者数を正社員数で割った値			

⑦職場の快適度やワークライフバランス	2024年度	前年度	同業種平均値
女性育児休業取得人数(%)	10人(100%) →	20人(100%)	84.1%
男性育児休業取得人数(%)	0人(0%)対象1名 →	0人(0%)対象1名	30.1%
男性育児休業管理職研修参加率	73.7% ↑	40.6%	
介護休業取得人数	4人		
介護休暇取得人数	1人		
介護管理職研修参加率	14.8% ↑	0.0%	
平均月間残業時間(所定外労働時間)	7.2h ↓	7.4h	-
平均年次有給休暇取得率	88.1% ↑	85.1%	67%
(*)リアルタイムでの勤怠管理を行い、ラインでの長時間労働の確認・指導、有給休暇取得の促進を行うことにより、前年度に比べ、平均残業時間が7.4→7.2時間に削減し、有給休暇消化率は85.1%→88.1%に向上しました。更なる職場環境の改善・向上に努めていきます。			

⑧健康診断結果・生活習慣については別資料(健康診断結果・生活習慣状況)

3.財団の健康支援の取組状況に関する指標

⑨ストレスチェック(SC)	2024年度		前年度	同業種平均値
ストレスチェック受検率	97.1%	↑	94.4%	-
SCの職場別分析結果を受けて職場環境改善に取り組んだ職場の割合(※)	100%	→	100%	-

(※)メンタルヘルス研修に加え健康リスク120以上の高ストレス職場・ストレス傾向職場に関しては、必ず職場環境改善を実施

⑩メンタルヘルス教育	2024年度		前年度	同業種平均値
心の健康をテーマに扱ったセミナー「ハラスメント・メンタルヘルス」の動画視聴(※)	664名		(実施無)	-
動画視聴率(対象は全従業員)	84.0%			-
心の健康をテーマに扱ったセミナーの参加者数	203名	↑	173名	-
「メンタルヘルスクアセミナー」(年1回)参加者満足度	100%	↑	98%	-
メンタルヘルス・マネジメント検定Ⅱ種(ラインケアコース)団体受験合格者数(累積)	93名	↑	84名	-
メンタルヘルス・マネジメント検定Ⅲ種(セルフケアコース)団体受験合格者数(累積)	75名	↑	70名	-

(※) 2025年度より動画視聴による教育も開始しました。

⑪定期健康診断の徹底および精密検査の受診勧奨	2024年度		前年度	同業種平均値
定期健康診断受診率	100%	→	100%	-
精密検査対象者受診勧奨率	100%	→	100%	-
精密検査受診率	55.3%	↓	68%	-
特定保健指導利用率(※)	100.0%	→	100.0%	
高血圧者のうち治療中率 ※40歳以上を対象に集計	83.7%	↑	82.7%	-

(※) 内服開始、退職などの理由がない場合は必ず実施しています。

⑫女性の健康管理・衛生教育	2024年度		前年度	
「子宮頸がん」動画視聴(※)	189名			-
動画視聴率(対象は全従業員)	26.1%			-

(※) 2025年度より動画視聴による教育も開始しました。

⑬健康イベント(身体面)	2024年度		前年度	
身体の健康をテーマに扱ったセミナーの参加者数	15名	↑	6名	-
「フィジカルヘルスセミナー」(年1回)参加者満足度	100%	→	100%	-

⑭健康管理アプリ(CARADA)導入率	2024年度		前年度	
健康管理アプリ導入率	55.3%	↑	46.7%	

4.社会的価値・企業価値の向上に関する指標

⑯魅力的な法人(病院)としての外部評価の向上	2024年度		前年度	
「健康経営優良法人」認定／経済産業省・日本健康会議	認定		認定	7年連続
「健康づくり優良事業所ゴールド」認定／協会けんぽ	認定		認定	-

各目標値の計画期間			
2025 年 4 月1日～2028年 3 月 31 日(4 年間)		(4年ごとに見直しを行います)	
同業種(医療・福祉)の全国平均値の参照元			
1)令和5年度雇用均等基本調査		4)厚生労働省(令和年6年度就労条件総合調査)	
2)全国労働衛生団体連合会(令和6年全衛連ストレスチェックサービス実施結果報告書)		5)厚生労働省(令和4年賃金事情調査)	
3)厚生労働省(令和5年度 職場のハラスメントに関する実態調査報告書)		6)厚生労働省(令和年雇用動向調査)	